

礼 拝 順 序

司 式
奏 楽

前 招	奏 詞	詩編100:1-5
説 詠		556
讃 読詩編		8:1-10
讃 美 歌	試用版	153
聖 書	新約 テサロニケー	5:16-22 (p.379 or 438)
祈 禱		
讃 美 歌		286
契 励	「どんなことにも感謝しなさい」	
祈 禱		
讃 美 歌		536
奉 献	(献金・祈禱)	
主 の 祈		(564)
頌 荣		544
祝 禱		
祝 告		

月 日	司 式	奏 楽	礼 拝	受 付	献 金	聖 餐 当 番
8/25						
9/ 1						
8/31	掃	壮年会(午後5時)				
9/ 6	除					

-一 次 週 礼 拝 -

説 教 「本国は天にある」

聖 書 フィリピ3:17-

4 : 1

讃美歌 こどもさんびか 2

129 17 15

271 (ST)

交説詩編 こどもこうどくぶん1

-本 日 の 集 会 -

求道者会 礼拜後 於 談話室

初めて教会に見えた方、求道者

(洗礼を受けておられない方) は

お集まりください。

-今 週 の 集 会 -

野庭苑訪問

27日(火) 午前10時

-報告とお願ひ-

本日、教会学校夏期キャンプに
行っています

次主日礼拝は、合同礼拝をいた
します。礼拝後、定例役員会をい
たします。

「サンパウロ通信一創刊号」が
出ました。「小井沼宣教師夫妻と
共に歩む会」の会員になってくだ
さる方は、会費を郵便振替でなく
会計の H.Y 姉に直接お渡しくだ
さい。

-一 个 人 消 息 -

秋吉牧師夫妻 ドイツ旅行から
29日(木)に帰国します。旅行
の無事と良い研修をお祈りくだ
さい。

-集 会 状 況 -

男 女 計

教会学校 子供 8/18 / / 12

大人 8/18 / 10 / 8 28

主 日 礼 拝 8/18 29 61 90

-牧 師 室 か ら -

新潟県「巻町」で行なわれた
原子力発電所建設の是非を問う「
住民投票」は、大差で反対の意思
を表示した。町長は清々しい顔で

週報

「建設用地の売却はしない」と明言した。これは画期的な出来事である。

最近、政治家に対して、国民の不信感は増すばかりである。一度の総選挙もなく、政党間の無節操な結合、離反によって、4人も首相が変わっている。住専問題についても、国民の8割を越える反対がありながら、税金で処理すると決議した。責任ある銀行、農協は追加負担を出すと言い訳しているが、国会は政府原案を押し通した。政治家は国民の声を聞こうとしない。これは民主主義に反し、極めて危険である。健全野党が存在しない現在の政治状況では、憲法改悪も原爆製造もなされるのではないかと恐怖さえ感じる。民主主義が危ういと思っている時、卷町の「住民投票」で町のあり方を決定する方法は「してやったり」と喜ばしい。選挙された議員による議会制の間接民主主義は形骸化してきている。住民投票という直接民主主義で補完する方法しかないのではないか。外国では重要な問題は住民投票で決定する

ことが頻繁に行なわれている。

しかし、卷町はこれから大変ではないかと思う。原子力発電所建設のため、事態は相当進んでいると聞く。町民の間で賛否両者の確執があるだろう。更に「住民投票は法的に拘束されない、電力供給はどうするのか、住民の意志を聞いていては国家百年の大計は立てられない」などなど、住民投票を抑え込む大々的なキャンペーンが展開されるだろう。

ここで、卷町住民の意志が通らなければ、日本の民主主義は崩壊する。近く沖縄でも米軍基地縮小問題で住民投票がある。政治家が民意を聞かないのだから、国民は住民投票で反撃し、民主主義を守るしかない。

日本の繁栄は弱い立場の人々の犠牲の上に成り立っている。その人々の「ノー」の声は増え大きくなり、それは当然、社会のあり方を変えていく。変わっても良いと腹を決めることである。問題は、この決意ができるかどうかであろう。私は、今回の卷町住民の意思表示に大きな期待を寄せている。

1996年8月25日 聖霊降臨節第14主日

卷17 21号

1996年度教会主題

「キリスト告白に生きる」

聖句 イエスが言われた。「それでは、あなたがたはわたしを何者だと言うのか。」シモン・ペトロが、「あなたはメシア、生ける神の子です」と答えた。

マタイによる福音書 16章15節～16節

目標 1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
2. キリストを証しする。

日本キリスト教団 横浜港南台教会

〒234 横浜市港南区港南台7丁目 8-29

電話 045-833-5323

FAX 045-833-6616

振替 00290-4-13994

牧師 秋吉 隆雄